

## 卒業式・修了式に際して

人文社会科学部・研究科の保護者の皆様

日ごろより学部・研究科の運営にご理解とご協力を賜り、お礼を申し上げます。

この度はご子息・ご息女のご卒業・修了おめでとうございます。コロナ禍でのおり、例年通りの卒業・修了式とはいきませんが、学生・院生には対面で式典を実施し、学部・研究科にて学位記伝達式を行い、門出をお祝いいたします。



以下のメッセージを卒業生・修了生に送りましたので、お伝えします。

思い返してみると、約 2 年前に新型コロナウイルスの感染が始まり、これまでに幾度となく感染の縮小と拡大を繰り返し、今現在も収束したとは言えない段階です。学部学生の皆さんは 3・4 年次を 1・2 年次とはまるで異なる環境で過ごすことになり、また院生の皆さんはまるまる 2 年をコロナ禍で過ごすことになり、大変苦労したものであると思います。一方で、そのような環境下でも努力をして、卒業・修了に至ったことを誇りに思います。

私事で恐縮ですが、いまから遡ること 30 数年前、大学を卒業し初めて東京を離れ、大阪の寮に入って銀行員としての社会人生活を送ることになりました。しかし、入行前の 3 月頃は社会人としてきちんとやっていけるのだろうか、心配でならなかったことを今でも覚えています（あまり意味はありませんでしたが、朝早く起きる練習をしたりもしました）。少なからず躓きもありましたが、いろいろな人に支えてもらい、社会人生活をなんとか始めることができました。

コロナ禍で新天地に踏み出す皆さんは、私などに比べるとさぞかし大変だと思いますが、困難なことも含めて大学時代の経験を糧に、これまで以上に強い思いをもち社会で活躍してくれるものと信じています。



卒業・修了した後も、茨城大学や学部・研究科のことを思い出してくれることがあると嬉しく思います。今度は同じ社会人として、皆さんとお話ししたり、一緒に活動したりできることを今から楽しみにしています。

人文社会科学部長 内田 聡